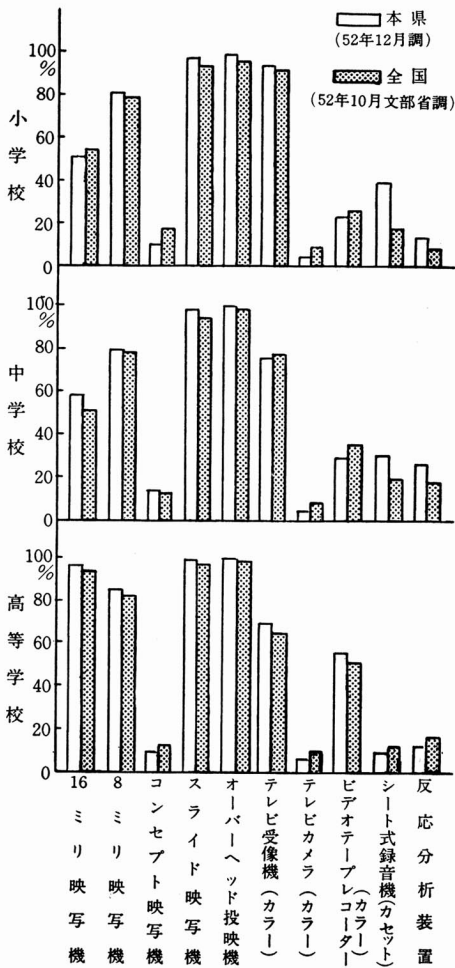


(図3) おもな機器の所有率の全国との比較



スライド映写機、OHP、テレビ受像機などがよく普及しているが、コンセプト映写機、テレビカメラ、VTR 反応分析装置、シート式録音機などの所有率が本県も全国平均も低い。

また、20機種についての所有率の平均を求めたところ本県の小学校は51.2%で全国平均の50.8%を、同じく中学校は52.7%で全国平均の51.6%を、高等学校は60.6%で全国の57.0%をいずれも上まわっている。

ただ、所有校平均所有数の比較では20機種のうち小学校で14機種、中学校が16機種、高等学校で11機種で全国平均を下まわっており、所有台数では全国平均より劣ることがわかる。

5. 新しい教材基準からみた充足率はどうか

文部省は新教材整備10ヶ年計画の発足に伴い、53年7月7日、新しい「教材基準」を発表した。その特色は「必要最少限のもの」となっていた従来のわくを「標準的に必要なもの」に改めて、基準対象の新品目(VTR・反応分析装置など)を加え、かつ必要度の高い品目(OHP、テレビなど)の基準数量を増量したことである。

<表4>は1部の教育機器について、この新しい基準をもとに学校規模別の充足率を示したものである。

ポータブル電蓄、スライド映写機は小中とも基準に近いが基準を上まわる充足率を示している。

OHPやテレビは先にふれたように所有率や1校あたりの台数もかなり高いが、新しい基準をもとにするとまだ充分でないことがわかる。

6. おわりに

以上、本県の公立学校における教育機器、視聴覚施設の所有状況、設置状況について調査結果をもとに述べたが、紙面のつごうで説明不足や考察が充分でなく、わかりにくいところも多いと思う。詳細なデータや分析結果は後日、研究紀要にまとめる予定なのでそれを参考にしていただきたい。

<表4> 新教材基準にもとづく学校規模別充足率

学校規模	ポータブル電蓄		OHP		スライド映写機		テレビ受像機		8ミリ映写機		16ミリ映写機		反応分析装置		TP作成機		スクリーン	
	学校別		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
1 ~ 5学級	149	119	52	61	130	131	42	19	85	80	31	30	2	3	39	38	64	75
6 ~ 12	121	85	39	65	90	103	37	16	86	88	52	67	10	34	28	25	50	82
13 ~ 18	133	87	46	67	85	83	52	18	50	55	73	86	35	56	29	23	68	80
19 ~ 24	135	82	44	67	97	77	63	14	50	64	71	96	36	69	29	24	66	105
25 ~ 30	129	106	54	86	87	100	52	17	37	41	83	89	53	78	39	22	63	118
31 ~	131	190	46	66	89	100	49	13	41	80	94	120	39	120	25	40	72	94

充足率 = 1校あたりの平均所有数 ÷ 基準数 × 100 (%)